



笑顔あふれるまちづくり

いいぬま雅子

品川区議会議員区政報告

NO. 364. 2011. 8. 7.

埋立地の液状化の実態と復旧

浦安市4分の3が液状化

震災対策特別委員会視察

首都高速湾岸線、ディズニールランドを右に見ながら少し先の①新浦安駅がスタート。基礎がしっかりした建物はそのまま、周辺地面が陥没しています。(写真上) 駅ビルを出て数十センチの段差はアスファルトで応急処置。(写真下) 駅広に



びマイクロバ



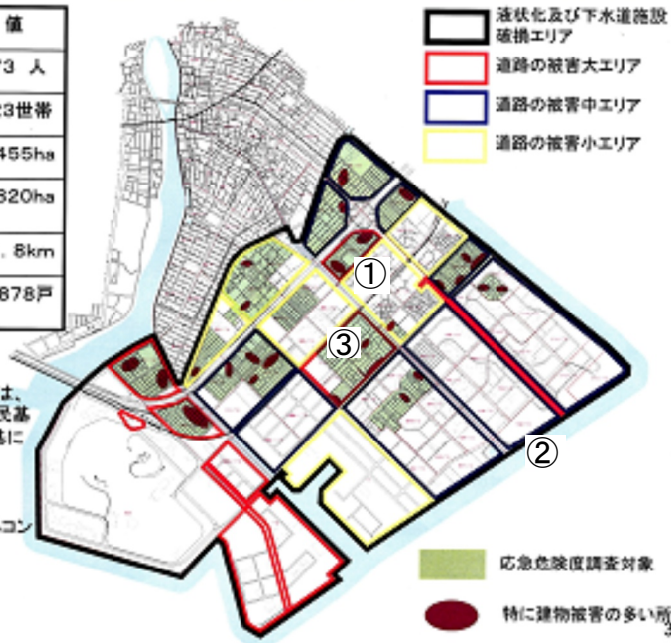
あるエレベーターの周辺が落ち込み入口までアスファルト

浦安市の被害の概要

主な被害項目	数 値
被災者数※1	96,473 人
被災世帯数※1	37,023 世帯
液状化面積※2	約1,455ha
下水道破損地区面積	約820ha
道路の被害延長	111.8km
応急危険度調査対象	8,878戸

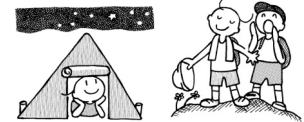
※1 被災者数及び被災者世帯数は、平成23年2月28日現在の住民基本台帳と外国人登録台帳を基に算出した。

※2 空中測量で作成した地図からコンピュータ処理により算出した。



太枠内が被害を受けた埋立地、左上方が旧市街地で被害なし (浦安市提供資料)

7月27日、震災対策特別委員会で千葉県浦安市に、液状化の実態と復旧状況を視察してきました。市の4分の3に及ぶ埋立地全域に液状化が起こり、応急復興に懸命の状態でしたが、改めて被害の大きさを実感しました。また国が全力をあげて液状化被害の救済と再発防止に当たることを求めねばと強く思いました。



8月は無料法律相談をお休みします。お急ぎの方はご連絡ください。弁護士に直接つなげます。

液状化現象とは

地震によって地盤が一時的に液体のようになってしまう現象。埋立地や河口など砂質の地盤で起きる。この現象は1964年新潟地震で建物の倒壊や新設の橋の崩落。1995年の阪神・淡路大

地震でもポートアイランド・六甲アイランドが被害に。教訓を後世に活かさなければなりません。



せり上がったマンホール

第16回東京反核平和マラソン品川を走る

7月30日(土) 11時40分、元気なうたごえと共にピースランナーが、品川を走りぬけました。大田区から代々木公園がゴール。品川中央公園で一休み。私も激励のあいさつにかけつけました。 雅子



南部合唱団「歩いていこう」の歌声に合わせ、ランナーたちと応援団

スでシンボルロードを走り護岸の総合公園へ。道路が波打っていて車の揺れが激しい。道路陥没、段差解消の復旧工事が急ピッチで行われています。浮き上がったマンホールも数か所見られ、傾いた建物は無人の様子。あちこちに段差があり大変な状況。②総合公園は危険地域のフェンスが張り巡らされていましたが、護岸は亀裂や崩壊が起こっています。③境川の護岸は陥没がひどく遊歩道が崩れ通行禁止に。周辺戸建て住宅街では電柱が並んで傾き、傾いた家、塀、駐車場は一段下がっ

たり亀裂が入り吹き出した砂が今だ残っています。大震災から4か月半、住民の方のご苦労はいかばかりかとお察しします。ライフラインの応急復旧は、ガス、上下水道共に4月までに完了していますが、本復旧にはどのくらいかかるのでしょうか。以上報告です。 国交省は「液状化対策技術検討会議」を立ち上げ、夏ごろまでに検討結果を出します。東京都も検討を行っています。震災対策委員会は、2月に津波・高潮対策と合わせ議論を行います。

第28回 しながわ平和のための戦争展

8月11日(木)～14日(日)
10時～19時30分(最終日は17時まで)
品川区民ギャラリー(イトーヨーカドー大井町店8階)

みなさんが作ってくださった折り鶴をもって、長崎に行ってきます。報告を楽しみにしててください。